

|                |                                  |     |        |     |
|----------------|----------------------------------|-----|--------|-----|
| ○事業所名          | 多機能型事業所 あいりすけ                    |     |        |     |
| ○保護者評価実施期間     | 令和 8 年 2 月 1 日 ～ 令和 8 年 2 月 28 日 |     |        |     |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                           | 39人 | (回答者数) | 33人 |
| ○従業者評価実施期間     | 令和 8 年 3 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 19 日 |     |        |     |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                           | 7人  | (回答者数) | 7人  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 8 年 3 月 26 日                  |     |        |     |

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                                                                            | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                                                                                                     | さらに充実を図るための取組等                                                                                                |
|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 不登校児童や特別支援学校の児童が安心して過ごすことができる、心理的安全性の高い環境を整備している。                                                                     | 不登校児童については個々の状況に応じ、無理な登校や集団参加を求めず段階的な参加を促している。特別支援学校の児童に対しては、視覚的支援や分かりやすい説明を取り入れ、必要に応じて職員が個別に見守りや活動のフォローを行うなど安心して活動できるよう配慮している。                           | 学校や関係機関と連携を図り、児童の将来的な登校や社会参加につながる支援の実施に向けた検討を行っている。                                                           |
| 2 | 児童及びその家族との関わりを大切に、密接な関係性を築くことで、児童の健やかな成長と家族の安心につながるよう支援している。<br>また、児童と職員との信頼関係が築かれており、気持ちや困りごとを言葉で表出しやすい雰囲気づくりに努めている。 | 定期的な面談や連絡帳を通じて保護者との情報共有を行い、児童の成長や課題について共に考えながら支援を行っている。これにより、家庭と事業所が連携し、児童を支える体制の構築に努めている。                                                                | スポーツ大会等の行事において、家族が児童の様子を観覧できる機会を設けていきたい。<br>また、日頃の事業所での様子を参観日等を通じて保護者に見てもらうことで情報共有を深め、家庭と事業所が連携した支援につなげていきたい。 |
| 3 | ダンスや農作業、生き物の世話などの体験型・実践型の活動を取り入れ、児童の興味や関心を引き出すとともに、自己肯定感の向上や命の大切さ、協力する力を育む支援を行っている。                                   | ダンス活動では「上手・下手」ではなく、「楽しむこと」「表現すること」を重視し、成功体験につなげている。<br>野菜栽培やカメの飼育では、役割分担を行い責任感や継続して取り組む力を育てている。<br>実際に収穫した野菜を食べることで食への興味関心や農業の苦労、地域文化など学べて食の偏見改善にも繋がっている。 | ダンスや体験活動を情緒面の安定や対人関係スキルの向上につながるよう支援計画とより明確に結びつけていく。<br>命の教育（動植物の世話）について振り返りの時間を設け児童自身が学びを言語化できるよう支援する。        |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること                                                                                                                              | 事業所として考えている課題の要因等                                                                                                  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                                                                                                                                                      |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 児童と職員との信頼関係は強く、安心して活動できる環境が整っている一方で、特定の職員に依存しやすくなる可能性がある。そのため、職員間での情報共有や支援方針の統一をより一層徹底することが重要である。                                                                       | 児童が「何でも話せる」「受け止めてもらえる」と感じた職員に対して、心理的な拠り所が集中しやすい。                                                                   | 支援内容や児童の様子については、日々の記録やミーティングを通して職員間で情報共有を行い、共通理解を図っている。<br>また、個別支援計画書を基に、どの職員が関わっても同一の支援方針で対応できる体制づくりを意識している。<br>さらに、児童が安心できる関係性を維持しつつ、特定の職員への過度な依存を防ぐため、活動や役割を通して関わる職員を段階的に広げていくよう努めている。 |
| 2 | 現状、施設内のバリアフリー化が十分でない箇所があり、安全面で留意すべき箇所が存在している。<br>今後はスロープ設置や段差解消用具の活用、滑り止め加工など物理的改善に加え、職員の付き添いなど人的配慮も組み合わせた安全対策を検討していく。<br>日常的な点検や危険箇所の早期発見を通じて、児童が安心して活動できる環境づくりを進めていく。 | 安全面への配慮から部分的な改善（トイレに手すりを設置したり駐車場から玄関までの通路の石の段差を取り除き歩きやすいように改善）は進めているものの、玄関や室内の段差については大規模な改修が必要となるため段階的な対応にとどまっている。 | 玄関や室内の段差については、スロープの設置や簡易的な段差解消用具の活用を検討する。<br>また、段差部分には滑り止め加工や視認性の高い表示を行い、転倒防止に努める。<br>さらに、児童一人ひとりの身体状況に応じて職員が付き添いなど人的配慮を行い、安全確保を図る。<br>加えて、日常的な点検を実施し、危険箇所の早期発見と改善につなげる。                  |
| 3 | 現状、地域交流を行う機会が十分に確保できておらず、実施できていない状況である。<br>今後は地域との関わりを持つ機会を創出やイベント参加の検討を通じて、児童が地域に触れ、交流できる環境づくりに取り組む必要がある。                                                              | 普段平日の活動は学校から帰ってきてからなので時間も少なく室内になってしまうので近所の外にて遊ぶ機会も少ないため地域の方と会う機会がなく、回覧板を持ってこられた際と年末年始しか挨拶をする機会がなく交流を図れていない         | まずは地域の掃除（ゴミ拾いや草抜き）がある際は積極的に参加を少しずつ交流を増やしていく                                                                                                                                               |

|      |               |
|------|---------------|
| 事業所名 | 多機能型事業所 あいりすけ |
|------|---------------|

公表日 R8年 3月 26日

利用児童数 39人 回収数 32枚

|                      |    | チェック項目                                                                                                                              | はい  | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見                                | ご意見を踏まえた対応                                                                |
|----------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------------|-----|-------|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 環境・<br>体制<br>整備      | 1  | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。                                                                                                      | 85% | 6%            | 3%  | 6%    | 時々狭いと感じることはあるが、活動ができるスペースは確保されている。 | 活動内容や人数に応じてスペースの使い方を工夫し、こども達が安全に活動できるよう環境調整を行っていく。                        |
|                      | 2  | 職員の配置数は適切であると思いますか。                                                                                                                 | 76% | 12%           | 0%  | 12%   | 職員の人数については適切だと思うが、忙しそうに感じる場面もある。   | 職員配置基準を満たした体制で支援を行っております。今後もこども一人ひとりに十分な支援が行えるよう職員間で連携し、適切な支援体制の維持に努めていく。 |
|                      | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。                                        | 70% | 15%           | 0%  | 15%   | 子どもに合った環境づくりを工夫してほしい。              | こどもの特性や発達段階に応じて、視覚的支援や活動スペースの構造化などを取り入れながら、安心して過ごすことができる環境づくりに努めていく。      |
|                      | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。                                                                     | 70% | 15%           | 0%  | 15%   | 概ね清潔で過ごしやすい環境だと思う。                 | 日々の清掃や環境整備を継続し、こども達が安心して過ごせる清潔で安全な環境づくりを維持していく。                           |
|                      | 5  | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。                                                                                    | 61% | 24%           | 0%  | 15%   | 子どもの特性に応じた支援をしてもらえていると思う。          | こども一人ひとりの特性や発達段階を踏まえ、専門的な視点を取り入れながら支援の充実を図っていく。                           |
| 適切な<br>支援の<br>提供     | 6  | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。                                                                                        | 66% | 25%           | 0%  | 9%    | 支援内容をもう少し具体的に知りたい。                 | 支援プログラムの内容について、通信や面談等を通して分かりやすく伝えできるよう努めていく。                              |
|                      | 7  | こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。                                                        | 49% | 30%           | 0%  | 21%   | 個別計画書がどのように作られているのかが知りたい。          | 保護者との面談や日々の情報共有を通してニーズを把握し、個別支援計画を作成しております。今後も計画作成時には丁寧な説明を行い、共通理解を深めていく。 |
|                      | 8  | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 75% | 15%           | 0%  | 10%   | 支援内容を詳しく教えてほしい                     | 個別支援計画の内容について、具体的な支援方法や目標を分かりやすく説明できるよう努めていく。                             |
|                      | 9  | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。                                                                                                    | 61% | 15%           | 0%  | 24%   | 計画に基づいた支援が行われていると思う。               | 個別支援計画に基づいた支援が継続して実施できるよう、職員間で情報共有を徹底していく。                                |
|                      | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。                                                                                                 | 61% | 24%           | 0%  | 15%   | 活動内容がもう少し変化してほしい                   | 季節行事等を取り入れたりして、活動内容が固定化されないように工夫していく。                                     |
|                      | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。                                                                                            | 61% | 24%           | 3%  | 12%   | 地域との交流の機会を増やしてほしい。                 | 地域交友の場を増やしていけるように、今後検討していく。                                               |
|                      | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。                                                                                     | 76% | 15%           | 9%  | 0%    | 利用時に説明を受けた。                        | 今後も利用開始時の説明を丁寧に行い、保護者が安心して利用できるよう努めていく。                                   |
| 保護者<br>への<br>説明<br>等 | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。                                                                                               | 61% | 27%           | 0%  | 12%   | 支援計画について説明してもらっている。                | 今後も分かりやすい説明を心掛け、保護者との共通理解を深めていく。                                          |
|                      | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。                                                                | 0%  | 15%           | 21% | 64%   | 家族支援についてはよく分からない。                  | 家族支援や子育てに関する情報提供について、面談や通信等を通して周知していくよう努めていく。                             |
|                      | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。                                                                               | 55% | 15%           | 6%  | 24%   | 連絡帳等で日々の様子を教えてもらっているが、もう少し詳しく知りたい。 | 連絡帳や送迎時のやり取りを通して、こどもの様子をより丁寧にお伝えできるよう努めていく。                               |
|                      | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。                                                                                                     | 61% | 24%           | 0%  | 15%   | 家庭で行かせるアドバイスがあると嬉しい。               | 保護者の方のお悩みに、寄り添えるように今後も取り組んでいく。                                            |
|                      | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。                                                                                                         | 70% | 15%           | 0%  | 15%   | 専門職との連携が強まると安心する。                  | 保護者の方に寄り添った支援を心掛けていく。                                                     |
|                      | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。          | 0%  | 30%           | 60% | 10%   | 保護者同士の交流の機会があるとよい                  | 保護者同士の交流機会について、今後の実施方法を検討していく。                                            |
|                      | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。                                | 70% | 9%            | 3%  | 18%   | 相談しやすい雰囲気がある。                      | より相談しやすい環境づくりをしていくとともに、迅速に対応できるように努めていく。                                  |
|                      | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。                                                                                             | 88% | 6%            | 6%  | 0%    | 連絡や情報共有は行われている。                    | 今後も保護者との情報共有を大切に、円滑なコミュニケーションに努めていく。                                      |
|                      | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。                                                          | 61% | 15%           | 6%  | 18%   | 発信はしてくれているが、もう少し詳しく知りたい。           | 通信やSNS等を活用し、活動の様子や行事予定などを分かりやすく発信していく。                                    |

|         |    |                                                                                              |      |     |    |     |                     |                                           |
|---------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|----|-----|---------------------|-------------------------------------------|
|         | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。                                                                   | 76%  | 6%  | 3% | 15% | 個人情報の管理はされていると感じる。  | 個人情報の管理に関しては、今後も適切な管理を行っていく。              |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 76%  | 9%  | 0% | 15% | 避難訓練などは行ってくれている。    | マニュアルの整備や避難訓練の実施を行い、保護者にも分かりやすく周知していく。    |
|         | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。                                                 | 70%  | 9%  | 0% | 21% | 避難訓練などは行ってくれている。    | 避難訓練の実施状況について通信等でお知らせできるよう努めていく。          |
|         | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。                             | 85%  | 15% | 0% | 0%  | 安全面には配慮されていると思う。    | 今後も安全管理を徹底し、安心して利用できる環境づくりに努めていく。         |
|         | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。                              | 90%  | 10% | 0% | 0%  | 事故時の対応や説明が適切だと感じます。 | 事故や怪我等が発生した際には、速やかに保護者へ連絡し状況を丁寧に説明していく。   |
|         |    |                                                                                              |      |     |    |     |                     |                                           |
| 満足度     | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。                                                                         | 100% | 0%  | 0% | 0%  | 安心して通えている           | 今後も安心して過ごせる環境づくりを大切に、支援の充実に努めていく。         |
|         | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。                                                                           | 100% | 0%  | 0% | 0%  | 楽しみにしている。           | こども達が楽しみながら成長できる活動の提供に努めていく。              |
|         | 29 | 事業所の支援に満足していますか。                                                                             | 85%  | 15% | 0% | 0%  | 概ね満足している。           | 今後もこども一人ひとりに寄り添った支援を行い、より良いサービスの提供に努めていく。 |

| 事業所名     |    | 多機能型事業所 あいりすけ                                                                                                                                        |      | 公表日 |                                            |                              | R8年 | 3月 | 26日 |
|----------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|--------------------------------------------|------------------------------|-----|----|-----|
|          |    | チェック項目                                                                                                                                               | はい   | いいえ | 工夫している点                                    | 課題や改善すべき点                    |     |    |     |
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                                                                         | 100% | 0%  | 利用人数に応じて活動スペースを分け、安全に活動できる環境を整えている。        | 利用人数増加時のスペース確保について引き続き検討する。  |     |    |     |
|          | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。                                                                                                                      | 72%  | 28% | 子どもの特性や支援内容を考慮し、職員配置を行っている。                | 利用児童の状況に応じた柔軟な職員配置を今後も検討する。  |     |    |     |
|          | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。                                                                | 72%  | 28% | 視覚的に分かりやすい環境設定や構造化を行い、安心して過ごせる環境づくりを行っている。 | 障害特性に応じた環境整備を継続的に見直していく。     |     |    |     |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                                                                                | 72%  | 28% | 清掃や消毒を徹底し、安心して過ごせる環境づくりに努めている。             | 活動内容に応じた空間づくりをさらに工夫していく。     |     |    |     |
|          | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                                                                           | 86%  | 14% | 落ち着いて過ごせるスペースを設け、必要に応じて個別対応ができる環境を整えている。   | 利用児童の状況に応じたスペースの活用方法を検討していく。 |     |    |     |
| 業務改善     | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。                                                                                                       | 72%  | 28% | ミーティングや振り返りを行い、業務改善につなげている。                | 職員全体でのPDCAの意識をさらに高めていく。      |     |    |     |
|          | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                 | 72%  | 28% | 保護者アンケートを実施し、意見を支援内容の改善に活かしている。            | より多くの意見を反映できる仕組みづくりを検討する。    |     |    |     |
|          | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                               | 86%  | 14% | 職員会議等で意見交換を行い、業務改善に取り組んでいる。                | 職員間の情報共有の機会をさらに充実させる。        |     |    |     |
|          | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                                     | 86%  | 14% | 外部評価や第三者の意見を参考に業務改善に取り組んでいる。               | 外部の視点をより積極的に取り入れていく。         |     |    |     |
|          | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                                    | 58%  | 42% | 法人内研修や外部研修の案内を行い、職員の資質向上を図っている。            | 研修機会の拡充や参加しやすい体制づくりを検討する。    |     |    |     |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                              | 100% | 0%  | 支援プログラムを作成し、事業所内外に公表している。                  | 内容の定期的な見直しを行う。               |     |    |     |
|          | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。                                                                               | 86%  | 14% | アセスメントを行い、児童や保護者のニーズに基づいた支援計画を作成している。      | より丁寧なニーズ把握に努める。              |     |    |     |
|          | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                                 | 86%  | 14% | 職員間で情報共有を行いながら計画作成を行っている。                  | より多職種の視点を取り入れる。              |     |    |     |
|          | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                              | 100% | 0%  | 支援計画を職員間で共有し、統一した支援を行っている。                 | 情報共有の徹底を継続する。                |     |    |     |
|          | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                                  | 86%  | 14% | 日々の観察や記録を活用し、児童の状況把握に努めている。                | 評価ツールの活用について検討する。            |     |    |     |
|          | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 100% | 0%  | ガイドラインを踏まえた支援計画を作成している。                    | 支援内容の具体性をさらに高める。             |     |    |     |
|          | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                               | 86%  | 14% | 職員で意見を出し合い活動プログラムを検討している。                  | 活動のバリエーションを増やす。              |     |    |     |
|          | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                                                                                             | 58%  | 42% | 季節行事やイベントを取り入れ活動の幅を広げている。                  | プログラムのマンネリ化防止。               |     |    |     |
|          | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                                                                                             | 100% | 0%  | 個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。                  | 個々のニーズに合わせた活動をさらに検討する。       |     |    |     |
|          | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                                                                                      | 86%  | 14% | 支援前に職員間で打ち合わせを行い、役割分担を確認している。              | より効率的な情報共有方法を検討する。           |     |    |     |
|          | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                                                                                               | 58%  | 42% | 必要に応じて振り返りを行い、支援改善につなげている。                 | 振り返りの時間確保を行う。                |     |    |     |
|          | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                                                                                               | 100% | 0%  | 日々の支援記録を作成し、支援の検証に活用している。                  | 記録の質向上に努める。                  |     |    |     |
|          | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                                                                                                | 58%  | 42% | 定期的なモニタリングを行い支援内容を見直している。                  | モニタリングの精度向上に努める。             |     |    |     |

|                                          |    |                                                                                                    |      |     |                            |                    |
|------------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|----------------------------|--------------------|
|                                          | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ<br>て支援を行っているか。                                                  | 100% | 0%  | 基本活動を組み合わせた支援を実施している。      | 活動内容のさらなる充実を行っている。 |
|                                          | 25 | 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする<br>力を育てるための支援を行っているか。                                           | 86%  | 14% | 児童が選択できる活動を取り入れている。        | 自己決定の機会を増やす。       |
|                                          | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこ<br>どもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                       | 100% | 0%  | 担当者会議に参加し情報共有を行っている。       | より積極的な連携を行っている。    |
| 関係機<br>関や<br>保護<br>者<br>と<br>の<br>連<br>携 | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の<br>関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                     | 58%  | 42% | 必要に応じて関係機関と連携を行っている。       | 連携体制の強化を行う。        |
|                                          | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等<br>）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか<br>。                    | 72%  | 28% | 学校と連絡を取り合い情報共有している。        | 連携方法の充実に努める。       |
|                                          | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等<br>との間で情報共有と相互理解に努めているか。                                       | 86%  | 14% | 就学前施設との情報共有に努めている。         | 連携機会の増加を目指す。       |
|                                          | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行す<br>る場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                               | 100% | 0%  | 進路先への情報提供を行っている。           | 移行支援の充実に努める。       |
|                                          | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズ<br>や助言や研修を受ける機会を設けているか。                                        | 72%  | 28% | 児童発達支援センター等から助言を受けている<br>。 | 研修機会の拡充に努める。       |
|                                          | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があ<br>るか。                                                         | 86%  | 14% | 地域交流の機会を設けている。             | 交流機会の拡充に努める。       |
|                                          | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。                                                                            | 86%  | 14% | 協議会等へ参加している。               | 参加機会の増加。           |
|                                          | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題につい<br>て共通理解を持っているか。                                               | 100% | 0%  | 保護者と日々の様子を共有している。          | 情報共有方法の充実。         |
|                                          | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペア<br>レント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っ<br>ているか。               | 86%  | 14% | 保護者相談や情報提供を行っている。          | 家族支援の充実。           |
|                                          | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか<br>。                                                           | 100% | 0%  | 契約時に丁寧な説明を行っている。           | 説明内容の分かりやすさ向上。     |
| 保<br>護<br>者<br>へ<br>の<br>説<br>明<br>等     | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、<br>こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認<br>する機会を設けているか。         | 100% | 0%  | 児童や保護者の意向を確認し計画作成してい<br>る。 | 意向確認の機会を増やす。       |
|                                          | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者か<br>ら放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                                     | 100% | 0%  | 支援計画の説明と同意を得ている。           | 説明内容の充実。           |
|                                          | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と<br>支援を行っているか。                                                  | 100% | 0%  | 相談に応じ助言を行っている。             | 相談体制の強化。           |
|                                          | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同<br>士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交<br>流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 42%  | 58% | 保護者同士の交流の機会を検討している。        | 交流機会の確保を行う。        |
|                                          | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こども<br>や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                           | 100% | 0%  | 苦情対応体制を整備している。             | 周知方法の強化。           |
|                                          | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概<br>要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                       | 100% | 0%  | 通信やSNSで情報発信している。           | 情報発信の充実。           |
|                                          | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                                | 100% | 0%  | 個人情報管理を徹底している。             | 管理体制の維持。           |
|                                          | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしてい<br>るか。                                                          | 100% | 0%  | 分かりやすい伝達方法を工夫している。         | 多様な伝達方法の検討を行う。     |
|                                          | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図ってい<br>るか。                                                          | 72%  | 28% | 地域行事への参加を行っている。            | 地域交流の拡大。           |
|                                          | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マ<br>ニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練<br>を実施しているか。            | 100% | 0%  | 各種マニュアルを整備し訓練を行っている。       | 定期的な見直し。           |
| 非<br>登<br>録                              | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的<br>に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                      | 86%  | 14% | BCPを作成し避難訓練を実施している。        | 訓練内容の充実。           |
|                                          | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                                                | 100% | 0%  | 健康状態や服薬情報を把握している。          | 情報更新の徹底。           |
|                                          | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされて<br>いるか。                                                         | 100% | 0%  | アレルギー対応を行っている。             | 対応確認の徹底。           |

|                            |    |                                                                                  |      |     |                       |                   |
|----------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------|------|-----|-----------------------|-------------------|
| 市<br>時<br>等<br>の<br>対<br>応 | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                     | 100% | 0%  | 安全計画を策定し研修を行っている。     | 安全管理意識の向上。        |
|                            | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                        | 86%  | 14% | 安全計画を保護者へ周知している。      | 周知方法の充実。          |
|                            | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                          | 86%  | 14% | ヒヤリハットを共有し再発防止を図っている。 | 記録の活用。            |
|                            | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                             | 100% | 0%  | 虐待防止研修を実施している。        | 研修の継続。            |
|                            | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 14%  | 86% | 身体拘束に関する方針を定め説明している。  | 原則身体拘束を行わない支援の徹底。 |